



発行  
日本共産党  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

### 総選挙・31日投票

## 力を合わせ政権交代の実現を

今度の総選挙は、自民党・公明党の政権に終止符を打ち、政権交代を実現できるかどうか。日本の前途がかかった選挙です。

自公政権は、コロナ対応で無為無策を重ね国民の命と暮らしを重大な危機にさらしました。貧困と格差を広げた経済政策を改める姿勢もありません。このような政治をこれ以上続けさせるわけにはいきません。

いまこそ市民と野党が力を合わせ、自公政権に代わる新しい政権をつくりましょう。

### 行き詰まった政治から 命守る政治に切りかえよう

自民党総裁選で語った「岸田カラー」はもはや見る影もありません。自民党の総選挙公約から、岸田氏の売り物だった「令和版所得倍増」や金融所得課税見直しは消えました。軍事力強化などが打ち出され、政策も人事も「安倍カラー」に染まった岸田政権に行き詰まった政治を変えることはできません。

文字通り、政権交代が焦点です。野党の態勢は整っています。野党の共通政策は、政

治を大きく変える道筋を明確に示しています。

安本法制の違憲部分の廃止など立憲主義の回復を明記したのをはじめ、外交・安全保障の問題でも、暮らしと経済の問題でも、従来の政策からの転換方向を明らかにしていきます。

気候危機打開、ジェンダー平等社会の実現を掲げ、安倍・菅政権下の疑惑究明も柱にしています。自公政治からのチェンジの要となる政策です。

### 政治転換の力ギは 日本共産党の躍進

新しい政権ができた場合、共通政策を実現するために、日本共産党は「限定的な閣外からの協力」をすることで立憲民主党と合意しました。

これまでも国政選挙で、野党は共通政策で合意してきましたが、それと一体に政権協

力の合意が確認されたことは、日本の政治史でも画期的です。

日本共産党が総選挙で政権合意を得てたかうのは、99年の党の歴史でも初めてです。新しい政権がつけられた時、共通政策を実行にうつし、揺るがず前進するためには、共闘発展に尽力する日本共産党の躍進がどうしても必要です。

### 選挙期間中

### 期日前投票ができます

投票は2回します

#### ①小選挙区

候補者名を書きます。

#### ②比例代表

政党名を書きます。

#### ○投票場所・時間

- ・旧春日部 (13区)
- ・市役所別館5階(8時30分~20時)
- ・ゆつく武里(8時30分~17時15分)
- ・旧庄和(14区)
- ・庄和総合支所(8時30分~20時)

※持ち物は入場券(免許証等)



## 並木としえ議員一般質問

放課後児童クラブは  
常勤支援員の複数配置を

9月16日、並木としえ議員は9月定例市議会で「放課後児童クラブは、保育の質を確保するために開設時間のすべてを勤務する常勤支援員の複数配置を」について一般質問をおこないました。

月給制の支援員は  
106人中50人

春日部市の放課後児童クラブ(学童保育)は、昨年(株)トライに運営が委託され、父母や関係者が

ら常勤支援員の不足がたびたび指摘されています。

「埼玉県放課後児童クラブガイドライン」では『支援員の役割と仕事内容から、運営形態にかかわらず、常勤での複数配置に努める。

「常勤」とは事業所が定めた勤務時間のすべてを勤務している者』と規定しています。トライの支援員の勤務時間と雇用形態を質しました。

トライでは、正午から勤務する支援員が50人、そのうち48人が有期雇用契約の契約社員で、月150時間勤務の月給制。「放課後」から勤務する支援員が56人、1日平均4時間勤務で時給制。いわゆるパート勤務。

であることが明らかになりました。

基準引き下げで  
保育は守れない

埼玉県が定めた「勤務時間のすべてを勤務する」という規定に当てはまる支援員は正午から勤務する50人で、本来は、正午から勤務する支援員が「常勤」です。春日部市の放課後児童クラブは全部で40カ所ですから、ほとんどのクラブが「常勤での複数配置」はできていません。

しかし、市はトライに運営を委託するにあたり、「常勤支援員」は1日3時間30分以上、週5日以上勤務するもの、と規定を変更しました。このことによりパート支援員でも「常勤」扱いになり、父母から「常勤支援員が足りない」「子

どもの安全が守れない」と抗議が上がりに、2回の住民監査請求を経て、告訴という事態になっています。

並木としえ議員は「学童保育は、子どもたちの遊び、生活、育ちのすべてを支えるところ。その役割と仕事内容から常勤での複数配置が規定されている。指定管理者に委託するにあたり、保育の質を確保するために一番大切な基準を、トライと協議してトライの都合に合わせて引き下げってしまった。市が監視機能を自ら投げ捨ててしまったのは、保育の質も子どもの安全もまもれない」と指摘し、改善・充実を強く求めました。

こども未来部長は「シルバー人材センターなどを活用し、世代間交流に取り組むなど、保育の質は確保されており、特段の苦情もない」などと答弁しました。

市立医療センター 卍735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

10/24(日) 庄和中央病院(内科系)上金崎281 電話746-3122 あゆみクリニック(小児科系)

大枝400-4 電話731-3283 内牧クリニック(外科系)内牧3149 電話755-2118

10/31(日) 山本内科医院(内科系)牛島956-1 電話755-7500 ファミリークリニックまの(小児科)

千間1-59-5 電話736-5155 小笠原医院(外科系)新宿新田319-2 電話746-0088